

オアシス

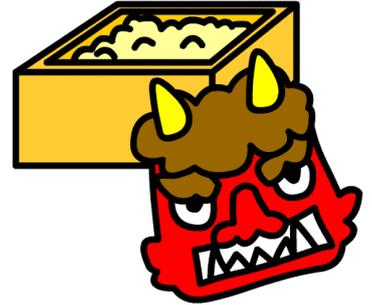
令和7年2月3日

江戸川区立大杉小学校 ことばの教室

校長 藤田 暁美

電話・FAX 03-3653-7784

旧暦の2月は「如月（きさらぎ）」と呼ばれます。この時期は寒さが厳しく、衣服をさらに重ねて寒さを防ぐ季節であることから「衣更着（きさらぎ）」と書くようになったという説が有力です。2月は季節の変わり目でもあります。春に向け少しずつ暖かくなってきますが、中旬を過ぎても寒い日が続きます。「如月」の名前の通り、重ね着など寒さ対策をしっかりと行い、手洗い・うがいなどの体調管理を十分にして、元気にお過ごしください。



2・3月の主な行事予定

【2月】

- 2月 5日（水） 区小研（午後の通級なし）
- 2月 8日（土） 大杉小学校 土曜授業（教室公開なし）
- 2月18日（火） 専門家相談（午前の通級なし）
- 2月19日（水） ことばの教室 学習発表会（午後の通級なし）

【3月】

- 3月 5日（水） 大杉小学校 卒業を祝う会（午後の通級なし）
- 3月14日（金） 通級指導終了

検査・相談は、毎週月曜日午前10時40分から行っています



吃音グループ活動を行いました



1月29日（水）に本年度4回目の吃音グループ活動を行いました。今回は、「吃音を知ってもらうためのポスター」を作成しました。ポスターには、吃音をもつ人の気持ちや、接し方のポイントなどを分かりやすくまとめられていました。みんなで協力しながら、それぞれの思いを形にすることができました。完成したポスターは今後、校内に掲示します。吃音について考え、互いの気持ちを共有する良い機会となりました。



「意欲を引き出す目標の立て方」について

2025年が始まり、早くも1か月が経過しました。年の初めは、気持ちを新たにして今年の抱負を考えたり、目標を立てたりする時期です。自分が立てた目標を達成できると「頑張ればできるんだ」という自信も高まります。しかし一方で、目標がうまく立てられないと、かえって子どもの意欲が低下してしまう場合もあります。今回は「意欲を引き出す目標の立て方」についてお伝えします。

✔ 目標設定のポイント

①具体的な数字や期間を入れた目標を立てる

「サッカーを頑張る」という漠然とした目標よりも、「リフティングが40回できるようになる」といった具体的で明確な目標の方が効果的とされています。目標が明確だと「何を、どう頑張ればよいか」がわかりやすくなり、子ども自身が目標達成に向けての進捗を確認しやすくなります。



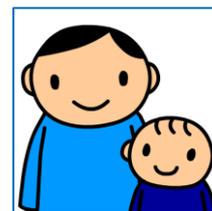
②目標を小さく分けてみる

大きな目標だけを掲げてしまうと、達成できなかったときに気持ちが萎えたり、やる気を失ってしまったりする場合があります。そのため、いくつかの小さな目標を設定し、それを段階的にクリアしていく方法が有効です。小さな達成感を積み重ねることで自信が付き、他の活動へのモチベーションアップにも繋がります。



③子どもと話し合って目標設定をする

「親に『〇〇しなさい』と言われたから」といった他律的な理由で目標を立てるよりも、「自分が〇〇したかったから」という自律的な動機をもって取り組む方が意欲は高くなるとされています。目標を決める際には、ぜひお子さんと話し合い、お子さんが納得できる目標を立てることを心がけてください。こうした経験を重ねることで、次第に自分から目標を設定するようになっていきます。



[参考] 外山美樹(2021)「勉強する気はなぜおこらないのか (ちくまプリマー新書)」

学習発表会のお知らせ

2月19日（水）に学習発表会を予定しています。発表をする予定の子どもたちは、担当者と相談しながら発表の準備を進めています。内容は、これまでの学習の成果や頑張っていることの紹介、好きなものの紹介など多岐にわたります。当日の学習発表会がさらに実り多いものとなるよう、引き続きご協力をお願いします。

【日時】令和7年2月19日（水）14：30～16：30

【会場】大杉小学校・フレンドルーム（1階）